

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	救急業務メディカルコントロール事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	01	09	52
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	救急救命士及び救急隊員	意図	救急救命士等の救急活動従事者の専門的知識・技術の向上を図る。
事業内容	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会内の救急救命士研修会の実施及び救急救命士の特定行為並びに救急隊員の救急業務の問題点を解決するために、検証医師に指示助言を受けることにより救急業務の向上を目指し、市民が安心できる救急体制を確立する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成15年3月に厚生労働省及び総務省の通知に基づき救急救命士の特定行為の拡大が行われ、東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会が設立された。また、平成16年7月に「気管挿管」、平成18年4月に「薬剤投与」、平成27年4月「心肺停止前傷病者への静脈路確保、血糖値測定」が追加され、救急救命士の資質の向上に向けた研修実施等のメディカルコントロール体制の一層の充実が求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	医師による救急活動事後検証	70	70	70	件	↑↑↑	事後検証数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会主導による、ICLS（医療従事者のための蘇生トレーニングコース）、JPTEC（病院前外傷教育プログラム）、MCLS（多数傷病者への医療対応標準化トレーニングコース）、医師による搬送事例検証により、救急救命士及び救急隊員の資質が向上している。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,647,000	5,897,600	5,979,100				
事業費(b)(円)		528,000	528,000	528,000				
うち一般財源		528,000	528,000	528,000				
職員給与と費(c)(円)		4,119,000	5,369,600	5,451,100				
人役・職員(人)		0.60	0.80	0.80				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)				0.10				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	協議会構成5市間の迅速な意見調整及び救急隊員の技術及び資質の向上に努めた。	③取組における課題(Check)	各種研修会への積極的な参加が出来る環境を作る必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	救急隊員の技術及び資質の向上のため、救急業務事後検証会等の各種研修会を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	救急隊員の技術及び資質の向上を図るため、事業を推進する。